

令和元年度の学校評価

本年度の 重点目標	校訓「活力」には、自らを律する力、何事にも真摯に取り組み成し遂げる気力、自ら考え、心豊かに社会をたくましく生き抜く力が凝縮されている。日々の学習や学校行事、部活動に生き生きと全力で取り組み、知・徳・体、調和の取れた社会の一員として果たすべき役割の自覚と責任を持って行動できる人間の育成を目指す。		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
防災 (総務部)	防災教育の推進	・防災マニュアルの整備	・幅広い観点で防災に関する情報を収集し、より実効性の高いマニュアル作りを目指す。
		・より実践に即した防災教育のあり方を探る。	・2年目を迎える「高校生防災セミナー」の成果を避難訓練等防災教育に生かし、災害発生時に主体的に危険を回避する判断力、支援活動における適切な役割を担う責任感と行動力を身につけさせる。
学習指導 (教務部)	主体的・対話的で深い学びをもたらす授業展開、学びに向かう力を養う学習指導方法の研究実践	・学習アンケート、授業評価アンケートの実施 ・研究授業の参観	・生徒の実情を的確に把握し、生徒が意欲的に学習に取り組める授業の実践を目指す。 ・新学習指導要領の実施に向け、研究実践を重ねてその情報を共有する。
		・生徒面談、学習記録等の活用	・家庭での学習実態を把握し、主体的な授業参加につながるような学習習慣を身に付けさせる。
生活指導 (生徒指導部)	①安全教育の充実	・校外交通安全指導の実施 ・交通安全教育の実施	・定期的に全職員による街頭指導を実施する。(登校時2回、下校時5回) ・登校時の門(正門・北門・西門)で毎朝、職員輪番にて実施。 ・外部講師による交通安全教室を開催し交通安全に対する意識を高める。
	②いじめ防止対策の推進	・いじめの早期発見に係わる取組の実施	・いじめアンケートを年3回実施し、いじめの早期発見を図るとともに、その後の適切な対応につなげる。
進路指導 (進路指導部)	生徒の適性、能力、志望に応じた進路指導	・大学入試の研究	・地元国公立大学を中心とした入試問題の研究を行い、その結果を生徒に還元する。 ・新入試制度の研究を進め、教科指導や進路指導にいかす。
		・適切な進路情報の提供と進路意識の啓発	・進路講演会や進路講話を実施し、生徒や保護者に対して適切な進路情報を提供する。 ・大学の講義を体験させることやオープンキャンパスに参加させることを通して、進路に対する意識を啓発する。
保健・環境美化 (保健部)	①心身の健康の保持増進	・心身の健康の保持と、増進を図る。 ・特別支援が必要な生徒への指導方法の充実を目指した教員研修の場を設定する。	・生徒保健委員会や保健だよりによる啓発を通じて、生徒が行事や季節に応じた健康への関心を高め、自らの健康管理に役立てられる指導を進める。 ・教員間の連絡を密にし、支援の必要な生徒の理解に努めるとともに、特別支援教育の研修の場を作り、指導方法を充実させる。
	②安全で快適な校内環境の整備	・環境美化活動の推進と危険箇所の掌握に努める。	・清掃点検、美化だより、花の苗植えなどを通じて、生徒美化委員会活動の活性化を図る。 ・毎月の安全点検を徹底することで、校内における危険箇所の早期発見とその対策を積極的に図る。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
図書館活動 (図書部)	読書の奨励と図書館の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 読書の機会を設定し、有効に活用させる。 委員会活動による情報提供を推し進め、生徒・職員が利用しやすい図書館を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 校内読書感想文コンクールなどの機会を提供し、読書に対する興味・関心を抱かせる。 「POP による紹介コーナー」等の広報活動をはじめ、返却ボックスの設置、AV 機器導入計画等、一層の充実のために一部改変を図る。
情報活動 (図書部)	開かれた学校教育と情報管理意識の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 学校 Web ページでの情報提供 職員に対して個人情報の管理意識を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に開かれた情報発信が出来るように、Web サイトの随時更新や見やすさを常に心がける。 情報セキュリティの遵守を定期的呼びかけ、個人情報の取扱いなど情報漏えい防止を徹底させる。
研修活動 (図書部)	校内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観の機会を積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員基本研修における研究授業の参観を促し、教員の指導力向上を目指すと同時に、さまざまな意見交流の場とする。
生徒会活動 (特活部)	興道祭の充実	<ul style="list-style-type: none"> 興道祭を通じて、創造力、自主性、協調性、自己有用感など社会に出て必要な人間力を養うことを目標に、各企画への支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 高校生らしいさわやかな発想と工夫、豊かな発想力を引き出せるよう様々な支援をする。 計画段階で、各企画が活性化するように十分に論議できる機会を提供する。生徒各会議を充実させ、上級生と下級生の連携をとれる場もつくる。
	部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒がはつらつと日々の活動に参加できるよう支援し、公式戦・コンクール等の結果にも繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間で効率よく、自発的な活動ができるように支援する。健康・安全面にも十分に留意させる。 学習と部活動の両立を図り、部活動に取り組む意義を理解させる。
1年生 「高校生としての基本的な生活習慣と自主的な学習習慣の育成」	①自主的に学習する姿勢と、積極的に諸活動に参画する姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習を大切に、予習、授業、復習の学習サイクル構築を呼びかける。 部活動、学校行事に積極的に参加するよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の記録を継続的につけることで、自身の学習習慣を見つめ、改善できるよう指導する。 部活動、学校行事を通して、コミュニケーション能力を育成するとともに、協力して何かを成し遂げる経験を積めるよう指導する。
	②基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行、時間やルールを守ることを丁寧に指導する。 睡眠時間を確保しながら、文武両道を実現するための時間の使い方を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲への配慮を考えた行動を意識し、興道生として自覚ある言動を実践できるよう指導する。 睡眠時間を確保したうえで文武両道を実践できるような生活習慣を意識できるよう指導する。 スマホの使用は節度を持って行い、情報管理の大切さを継続して指導する。
2年生 「進路目標を見据えた学習習慣の確立と学校の中心学年としての意識付け」	①進路目標の設定とその実現に向けた学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 総合学習、LTなどの進路行事を活用して各自の志望校の適切な設定を目指す。 家庭学習を充実させ、学力を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談を通じて個々に応じた目標を考えさせ、オープンキャンパス、ウェブサイトを利用し志望校をより具体的なものとして考えられるようにする。 家庭学習の記録をつけさせることで生活習慣を見直し、目標達成に必要な学力をつけるための適切なアドバイスをしていく。
	②中心学年として、諸活動に積極的に参加する意識と自己有用感の育成	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事、部活動において、主体的、積極的に活動する姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や部活動において、学校全体の中心的役割を果たせるよう支援し、自己有用感を育てる。 下級生を牽引し、上級生としてふさわしい責任ある行動ができるようアドバイスする。
3年生 「生徒の進路実現と主体的な学習姿勢の育成」	①生徒の進路目標を実現するためのきめ細かい指導	<ul style="list-style-type: none"> 担任面談や教科担任による学習指導、学年団の情報共有を通して、生徒一人一人に合った適切な進路指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談など生徒と関わる時間を増やし、できるだけ早く生徒の考えや進路希望を把握する。また学年で生徒情報や指導方針を共有することで、迅速かつ的確で教員間やクラス間で差のない指導を行う。
	②進路目標に向けた主体的な学習姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> 授業や補習を活用して基礎学力を高めるとともに、授業改善を通して、主体的な学習姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路目標に応じた学習計画を生徒自身が作成するよう助言をするとともに、生徒自らが主体的に学ぼうとする環境を整える。卒業後も生徒が社会の中で生きていく力を身に付けさせるよう指導に工夫をもたせる。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> 自律精神を養い、たくましく生きる生徒の育成ができたか。 思考力、判断力、表現力や主体的に学ぶ態度の育成ができたか。 いじめがなく、他者を尊重し協働的に学ぶ環境を整えることができたか。 地域、保護者、生徒のニーズに応える教育ができたか。 業務内容の精選等により時間の有効活用と健康維持を図ることができたか。 	